

日本全国 こども 郷土料理 サミット 募集要領

-発表 ふるさと&わが家の郷土料理！-

-「日本食文化への意識向上に関する事業」-
「日本全国 こども郷土料理サミット」(主催:農林水産省) 発表者募集のお知らせ

日本全国の小学校4~6年生が、それぞれの郷土料理について全国のお友達に発表！

子どもたちが、家族、地域とコミュニケーションをとりながら、
「ふるさと&わが家の郷土料理」を調べ、発表するイベントです。

「ふるさと&わが家の郷土料理」について発表を行ってくれる全国の小学校高学年の子どもたちを募集します。

1次審査で、全国9ブロック(※)より選抜者を各1名ずつ選定、
「日本全国 こども 郷土料理 サミット」当日、各ブロックを代表し、
子どもたちの言葉で、郷土料理について発表してもらいます。

(※) 9ブロック=北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州及び沖縄



ふるさと&我が家の
郷土料理を発表！



各賞を授与

-企画背景-

郷土料理とは、その土地の地域的な条件や気候風土を背景とし、先人の創意工夫のもと生まれた料理であり、時を越え、その土地の誇りとして伝えられてきました。

しかしながら、現在、食卓の個食化、行事の簡素化がすすむなど、日本食文化の伝承の機会は減少をたどってきています。

このような中、今年7月に行われた生活者調査(出典:農林水産省『日本食文化への意識向上に関する事業 インターネット全国調査』2013年7月)によると、「日本食文化について、もっと理解を深めたい」とする割合は73パーセントにのぼり、日本食文化を維持・継承することを重要視する意識は高いものとなっています。

また、昨年3月には政府は日本食文化をユネスコの無形文化遺産に登録申請し、これを契機に、国民への日本食文化に対する再認識をうながす取組を進めています。

こうした日本食文化への認識を、実際に維持・継承につなげていくためには、未来を担う子どもたちによる主体的な取組がとても重要だと考えます。

このため、農林水産省主催の「日本全国こども郷土料理サミット」を開催することとします。子どもたちが、ふるさと&わが家の郷土料理を調べ、大勢の人たちに向けて発表します。

自らの発表と共に、他地域に住む子どもたちの発表を聞き、日本各地の郷土食文化に触れる機会をつくり、食をきっかけとしたコミュニケーションを生む機会を設け、またそれを聞く大人たちも、郷土料理・郷土食文化の魅力を再認識することを目指します。

児童のみなさまのたくさんのご応募を心よりお待ちしております。

- 1) **趣旨** 子どもたちが、それぞれのふるさとや家庭の郷土料理について、調査及び発表を行い、交流を深めることを通じて、日本全国に伝わる「郷土食文化」への関心と理解を深めることを目的として、全国の小学校高学年の子どもたちを対象に、「日本全国こども郷土料理サミット」(主催:農林水産省)を開催します。
本サミットは農林水産省の「日本食文化への意識向上に関する事業」の一環として行います。
- 2) **主催** 農林水産省
- 3) **① 1次審査**
- a **応募資格** 小学4年生から小学6年生の児童で、保護者1名と共にサミット前日及び当日に、開催場所に集まれること。
(開催場所までの交通手段、宿泊先の手配および費用支払いは運営事務局にて行います)
- b **応募方法** 【応募用紙A】、【応募用紙B】に必要事項を記入し、応募期間内に下記「4) 問い合わせ先」まで送付してください。
(下記ウェブサイトより応募用紙A、Bともにダウンロードできます)
また、応募用紙は返却いたしません。
<http://kyodoryori.jp/kodomo2013/>
- c **応募期間** 平成25年 8月下旬 ~ 9月30日(月) (当日消印有効)
- d **審査** 審査員による厳正なる審査(書類審査)を行います。
- e **審査発表** 10月中旬に、運営事務局から選抜者に直接連絡することで、代えさせていただきます。
選抜者は、下記②サミットにおいて、郷土料理についての発表を行ってまいります。

発表者所属学校にて、1次審査を通過した発表者、保護者、先生への詳細説明をサミット開催前に行います。(サミット説明、打ち合わせ、発表者取材を併せて行います)
サミット当日、運営事務局担当者が責任をもってサポートします。

② サミット

- a **開催日時** 平成25年 11月24日(日) 13:30~16:00頃まで予定
(当日スケジュールは後日発表者へお伝えします)
- b **開催場所** 東京都内イベントホール
(開催場所は後日発表者へお伝えします)
- c **審査・表彰** 審査員による最終審査、表彰式にて各賞を発表者へ授与。

応募特典 サミット開催後、1次審査通過者の作品をまとめた資料を参加者・学校の元へ送付します。

4) 問い合わせ先(応募用紙の送付先)

(運営事務局)

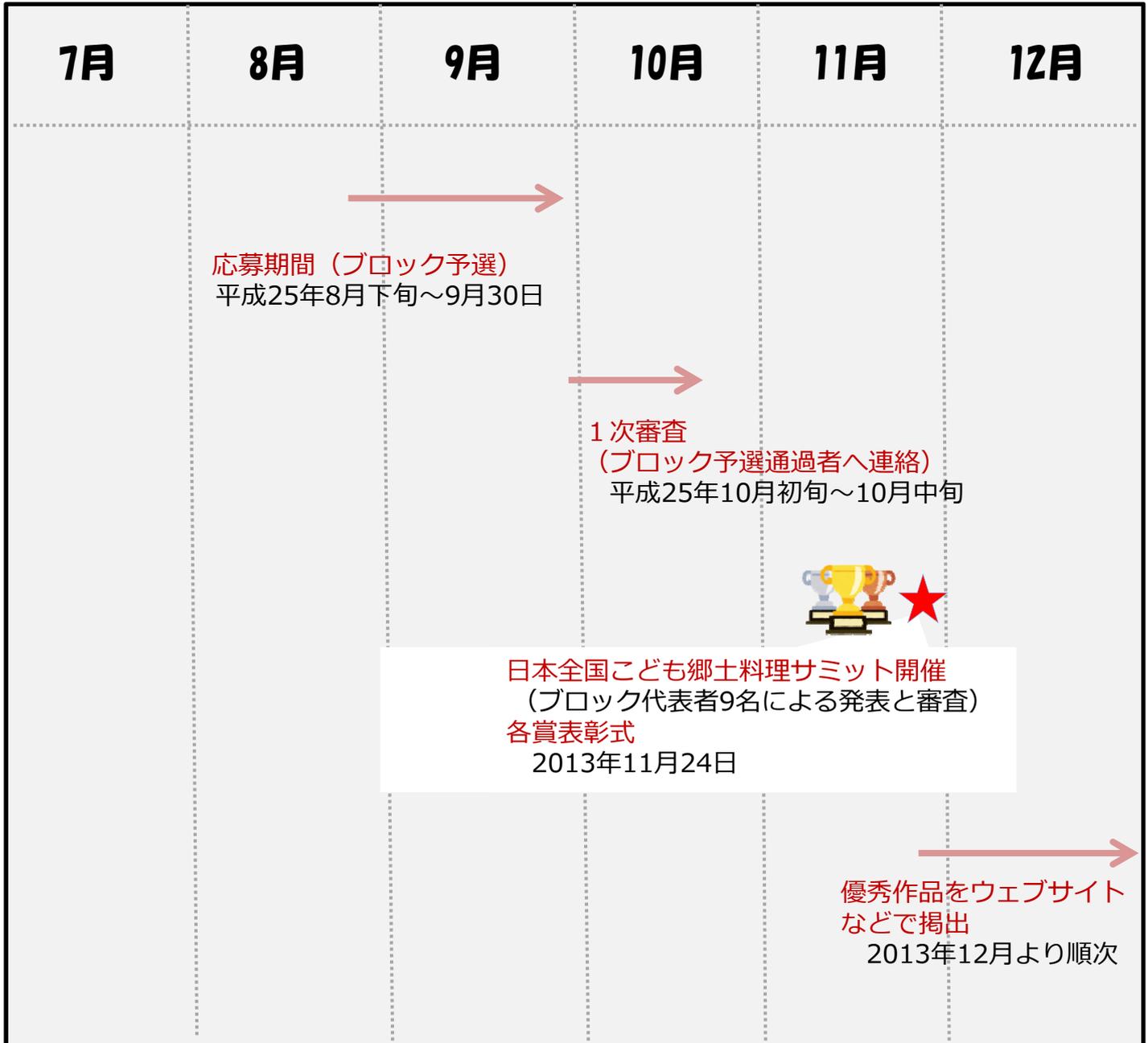
〒105-0003 東京都港区西新橋2-33-4 プレイアデ虎ノ門9階(ロケーションリサーチ内)

日本全国こども郷土料理サミット(担当:粟井 あわい)

電話番号: 03-6450-1257 E-Mail : info@location-research.co.jp

応募から発表まで

応募締め切りは9月30日(月)です。(当日消印有効)



<補足事項>

1) 1次審査について

① 審査基準

応募作品は運営事務局による事前選定を経て、各審査員が郷土料理の下記基本項目が記述されているかを確認、および下記審査基準にて採点を行い、審査基準3項目の総合得点よりブロック毎の代表児童1名を決定します。

基本項目：（郷土料理の基本要素、郷土料理の文化的背景要素、郷土料理の次世代への伝承要素）

審査基準：（調査力、構成力、絵や写真を用いた表現力）

② 1次審査通過者への連絡事項について

発表者所属学校にて、サミット当日の詳細な内容（会場やタイムスケジュールなど）、サミットにおける発表内容を説明します。発表内容については次ページを参照してください。

（9ブロックについて）

北海道ブロック：北海道

東北ブロック：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東ブロック：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県

北陸ブロック：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海ブロック：岐阜県、愛知県、三重県

近畿ブロック：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国四国ブロック：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州ブロック：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

沖縄ブロック：沖縄県

2) サミットについて

① 最終審査

9ブロック代表者の発表を踏まえ、1次審査員に当日審査員を加えた審査員が下記審査基準にて採点を行い、それぞれの審査基準、審査員合計点ごとに各賞を決定予定。同点の場合は審査員による最終審査を行う。

審査基準：（調査力、構成力、表現力、郷土愛、印象点、総合プレゼンテーション力）

② 表彰について

総合グランプリ(1名)

: 上記審査基準6項目、審査員の合計得点にて審査

調査力賞(1名)、構成力賞(1名)、表現力賞(1名)、郷土愛賞(1名)、審査員賞(※2)(1名)

: 上記審査基準各1項目、審査員の合計点にて審査

(※2) 印象点より

郷土料理応援賞(3名)

: 他、発表者へ授与

最新情報は下記ウェブサイトにてご覧いただけます。

<http://kyodoryori.jp/kodomo2013/>

1次審査通過から開催当日まで

1

事務局より、各ブロック1次選考通過者へ審査通過の旨と、こども郷土料理サミット当日詳細資料を郵送にて連絡します。

2

発表用資料の作成を開始してください。

発表用資料

- ・1次選考にて作成した応募用紙Bを清書、加筆した発表用シート。
- ・「ふるさと&わが家の郷土料理」をテーマとした作文。
原稿用紙2～5枚、800～2,000文字を記入。

「ふるさと&わが家の郷土料理」作文内容例

- ・郷土料理を調べた時に、色々なひとの話を聞いて、感じたこと。
- ・この料理をなぜ「自慢したい！」と思ったのか。特に伝えたい点や自慢したい点。
- ・これからこの郷土料理を誰にどうやって伝え続けていきたいか。

3

運営事務局担当者が発表者のもとへ説明へ伺います。
(於:発表者の所属小学校)

-説明内容-

- ・「日本全国こども郷土料理サミット」当日の詳細説明
- ・発表者が発表する郷土料理、近隣地域の郷土料理資料をもとにしたレクチャー
- ・発表用資料の添削(当日まで継続的にサポートします)
- ・発表者取材

4

発表用資料完成

上記3の運営事務局担当者がメール、電話、FAXにてサポートします。

5

日本全国こども郷土料理サミット前日

都内会議室にて発表者9組によるリハーサル、懇親会を行います。
(発表者はその後、運営事務局手配の宿泊施設にて一泊)

6

日本全国こども郷土料理サミット当日発表

発表者は、都内イベントホールにて、一般観覧客を前に壇上へ。
発表用資料をスクリーンに投影し、原稿用紙を読み上げ、
ふるさと&わが家の郷土料理を発表します。

最新情報は下記ウェブサイトにてご覧いただけます。

<http://kyodoryori.jp/kodomo2013/>